

□■□朝鮮高校無償化裁判 二審も不当判決！ □■□

★同じ高校生なのに…。私たちは決してあきらめない！

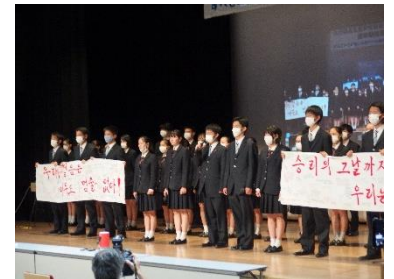


高校無償化制度の対象から朝鮮高級学校を除外したのは違法だとして、九州朝鮮中高級学校高級部(北九州市)の生徒68人が国に慰謝料など約750万円を求めた控訴審の判決が10月30日、福岡高裁で言い渡されました。

矢尾渉裁判長は生徒たちの切実な訴えを無視し、「朝鮮高校内の教育内容は朝鮮総連からの『不当な支配』を受けている合理的疑念」があり、九州朝鮮中高級学校を対象外とした国の判断は「不合理とまではいえない」として一審判決を踏襲し、原告の請求を棄却しました。朝鮮学校がどのように運営されているのかをまったく考慮せず、

法廷で「朝鮮学校をぜひ見に来てほしい」との弁護団の主張にも耳を貸さず、政府の主張のみを一方向的に認める、まさに「結論ありき」の不当判決でした。判決後、裁判所前で行われた抗議行動では、生徒たち自ら「同じ高校生なのに差別されて悔しい。未来の高校生たちががすてきな学校生活を送れるよう、これからも決してあきらめない！」など、目に涙を浮かべながらも力強く「差別反対」の声を上げました。

抗議行動後、福岡市科学館サイエンスホールに場所を移し、記者会見と報告集会が行われました。報告集会には生徒や原告、支援者など250人が参加。後藤富和弁護団長は「裁判官は不当判決を出しても日本社会では受け入れられると思っている」と指摘し、「日本社会は怒らない。日本のあり方が問われている裁判だ」「声を上げていくことの必要性」を訴えました。また、九州朝鮮高級学校保護者会より抗議声明が読み上げられ、東京、愛知、京都、大阪、広島、朝教同よりそれぞれ連帯挨拶がありました。その後、朝鮮高校生によるアピール、無償化連絡会による集会声明を決議して、弁護団団長の閉会の辞で終わりました。



★福岡高裁の不当判決を断固糾弾する～支援の輪を広げよう！

2010年4月1日から始まった「高校無償化」制度から10年が経ちました。2013年2月20日に安倍政権が朝鮮高校への「高校無償化」適用への道を完全に閉ざしてしまってから7年になります。この間、日本政府による民族差別・教育権の侵害に反対し、全国各地の朝鮮高校生たちが「高校無償化」の適用を求めて裁判を起こしました。実に200人以上の朝鮮高校生が原告として闘っています。福岡では、2013年12月19日、九州朝鮮中高級学校の在校生と卒業生らが国に慰謝料などの損害賠償を求める訴訟を福岡地裁小倉支部に起こしました。そもそも「高校無償化法」は、国際人権規約の規定の実施であり、「全ての意志ある高校生等が、安心して勉学に打ち込める社会をつくる」ことを目的としています。政治的外交的な理由に左右されることなく、全ての在日外国人高校生にも適用する法であったはずですが、「高校無償化法」は、日本社会の民主主義の内実化であり、朝鮮学校を含むすべての外国人学校に適用することは、これからの多民族共生社会への社会作りの第一歩ともなるものです。

朝鮮学校をめぐる同様の裁判は、これまで5都府県(広島・大阪・愛知・東京・福岡)で闘われてきました。このうち勝訴は2017年7月の大阪地裁判決のみ。一昨年からの東京・大阪・愛知の上告を退けた最高裁決定、そして、10月16日の広島高裁不当判決に続く今回の不当判決です。

私たちは福岡高裁の不当判決を断固糾弾します！これまで大阪地裁判決を除く、地裁・高裁・最高裁の判決に対して、その差別性に強く抗議するとともに、日本政府に対して朝鮮学校への高校無償化制度の即時適用を求め、実現するその日まで支援し続けます。

□■□ 「ニジノキセキ」 上映会 (60周年記念支援事業) □■□

☆差別のない社会を築こう！ 支援金 30 万円をハッキョに贈呈！

10月4日、東区のなみきホールで「ニジノキセキ」上映会を開催しました。これは、今年の2月に予定して新型コロナ感染症の拡大により延期となっていた上映会で、今回はウイルス対策を万全に整えて開催することができました。

1948年の「4.24 阪神教育闘争」から今日に至るウリハッキョ(朝鮮学校)の姿を描いたドキュメント映画「ニジノキセキ」。会場は、朝鮮学校に対する差別が 70 年以上も続いていることへの怒りで包まれるとともに、そうした中であって民族教育を守り、受け継いでいるウリハッキョの生徒たちのキラキラと輝く姿に、来場者の多くが涙を浮かべていました。上映会の後は、支援する会共同代表の後藤富和弁護士の進行でトークショーが行われました。そこでは、製作者の一人でもある在日朝鮮兵庫県青年商工会の朴晶久会長が映画の企画・制作に至る経緯を説明し、「民族教育を守り抜いてきた先代たちの精神を受け継ぎ、輝石である子どもたちに日本の皆さんとともに差別のない社会を築いていきたい。」と訴えました。また、直接「4.24 闘争」に関わったハラボジ、山口のハッキョ建設に携わったアボジを持つオモニ会の梁聖錦会長からは、民族のアイデンティティを子どもたちにつなぐこと、そのためにもウリハッキョを守り続けることへの強い決意が述べられました。

参加者からは、「当然の権利を自分たちの力で守り抜くということ、朝鮮学校を取り巻く皆さんに教えられた思いです。」「微力だが無力ではないと信じ、朝鮮学校の子どもたちのためにともに行動していきたい。」「何も知らされていない私たち。初めて知りました。日本人として恥ずかしい。」など、多くの日本の方々の応援メッセージが綴られていました。なお、今回の上映会の収益は、福岡朝鮮初級学校に教育支援金として贈呈することができました。ご協力ありがとうございました。

TOPICS

☆☆☆ 「60 周年記念福岡同胞運動会」 (10/25) ☆☆☆



10月25日、福岡朝鮮初級学校創立 60 周年を記念する運動会が《다음은 우리가! 次は私たちが!》のテーマを掲げて行われました。本当に雲一つない真っ青な秋の空の下、児童・園児たちは心ひとつに力を合わせ、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。想定外のコロナ禍のもと、4月から40日間の休校措置という厳しい条件であったにもかかわらず、運動会を準備されてきた先生方の熱意とご苦勞に対して心より拍手を送りたいと思います。また、その思いに応えるような子どもたちのはつらつとした演技は、どれも素晴らしく、感動的でした。これぞ、福岡朝鮮初級学校の真髓(スピリッツ)だと思いました。

新型コロナウイルス対策のため来賓は20人と制限せざるを得ず、恒例の午後の焼肉交流会も保護者のみ参加ということになり残念ではありましたが、そんなことも吹っ飛んでしまうぐらいの感動をいただきました。お土産にいただいた弁当はとてもおいしかったです。잘 먹었습니다! (ごちそうさまでした!)

これからも微力ながら「すべては子どもたちの幸せと成長のために」をモットーに、朝鮮学校を支え続けたいと思います。



☆☆☆ [オモニ会主催 『ニジノキセキ』 上映会] 開催決定! ☆☆☆

『ニジノキセキ』をもっと多くの同胞や子どもたちに見てほしい! …そんなオモニたちの思いが結実し、再び福岡の地で上映会が開催されることとなりました。しかも、今回は和自ハッキョの体育館での開催! 10月の上映会に参加できなかった方、もう一度じっくり観たいと思われる方、学校や子どもたちの様子を見たい方…鑑賞を希望される方は、事務局までご連絡ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています!

■と き ; 12月5日(土) 午前10時30分~上映スタート (9:30~受付)

■と ころ ; 福岡朝鮮初級学校体育館 (福岡市東区和白 5-17-1)

■チケッ ト ; おとな 1,000 円・学生 500 円

■申し込 み ; TEL:(092)633-3745 FAX:(092)633-3310 mail:wajiro_okanoue@yahoo.co.jp